

食の幸せのとなりに。

2022年3月期第2四半期 決算説明資料

ブルドックソース株式会社 (2804)

2021年11月11日



1. 2022年3月期第2四半期決算及び2022年3月期業績予想 — P. 2
2. 中期経営計画「B-UP120」 _____ P.14
3. 会社概要 _____ P.27



1. 2022年3月期第2四半期決算及び2022年3月期業績予想

※2021年4月1日より「収益認識に関する会計基準」を適用しております。

※本決算説明資料は、当該会計基準適用前の数値を（旧基準）、当該会計基準適用後の数値を（新基準）と記載して説明しております。

2022年3月期第2四半期実績

● 売上高は66.8億円（収益認識会計基準適用の影響により前年に対し、減収）

・家庭用商品50.5億円

- － 新型コロナウイルス感染症による昨年の内食需要急増の反動でソース類は前年同期と比較して低調に推移
- － 簡便志向の高まりにより手軽に作れる月島もんじゃ焼材料セットが好調に推移
- － SNSプロモーションの実施による新たな顧客層の獲得
- － ソースを使用した新たなレシピの認知拡大に向け他社調味料メーカーとのコラボレーション企画、商品パッケージからのホームページへの誘導

・業務用商品16.3億円

- － デリカ・テイクアウト向け商品が好調
- － 新型コロナウイルス感染症からの回復傾向により海外輸出向け商品が好調に推移

● 営業利益は前期比37.1%減の3.2億円

- ・ 業務の生産性向上による経費削減に努めたもののマーケティング費用等が増加

● 経常利益は前期比11.2%減の6.0億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年比11.7%減の4.2億円

● 重要な取り組み

- ・ 【館林工場】 生産体制再構築基本実施設計施工契約（第一次）締結
 - － 新棟建設、既存棟改修、ソース類及びその他調味料類の生産設備新設・移設・改修他、その他関連工事
 - － 着工予定：2022年4月 完成予定：2023年12月
 - － 総投資額 約85億円

● その他トピック

- ・ 70歳までの就業機会確保「シニア社員制度」の導入（2021年4月）
- ・ 女性管理職比率の増加（2021年4月）
- ・ IRサイトリニューアル（2021年7月）
- ・ ソースが決め手！「広島お好み焼材料セット『お好み村』」発売（2021年8月）
- ・ 賞味期限表示を「年月日」から「年月」に変更。食品ロスの削減と物流・オペレーションの効率化を目指す（2021年12月より）

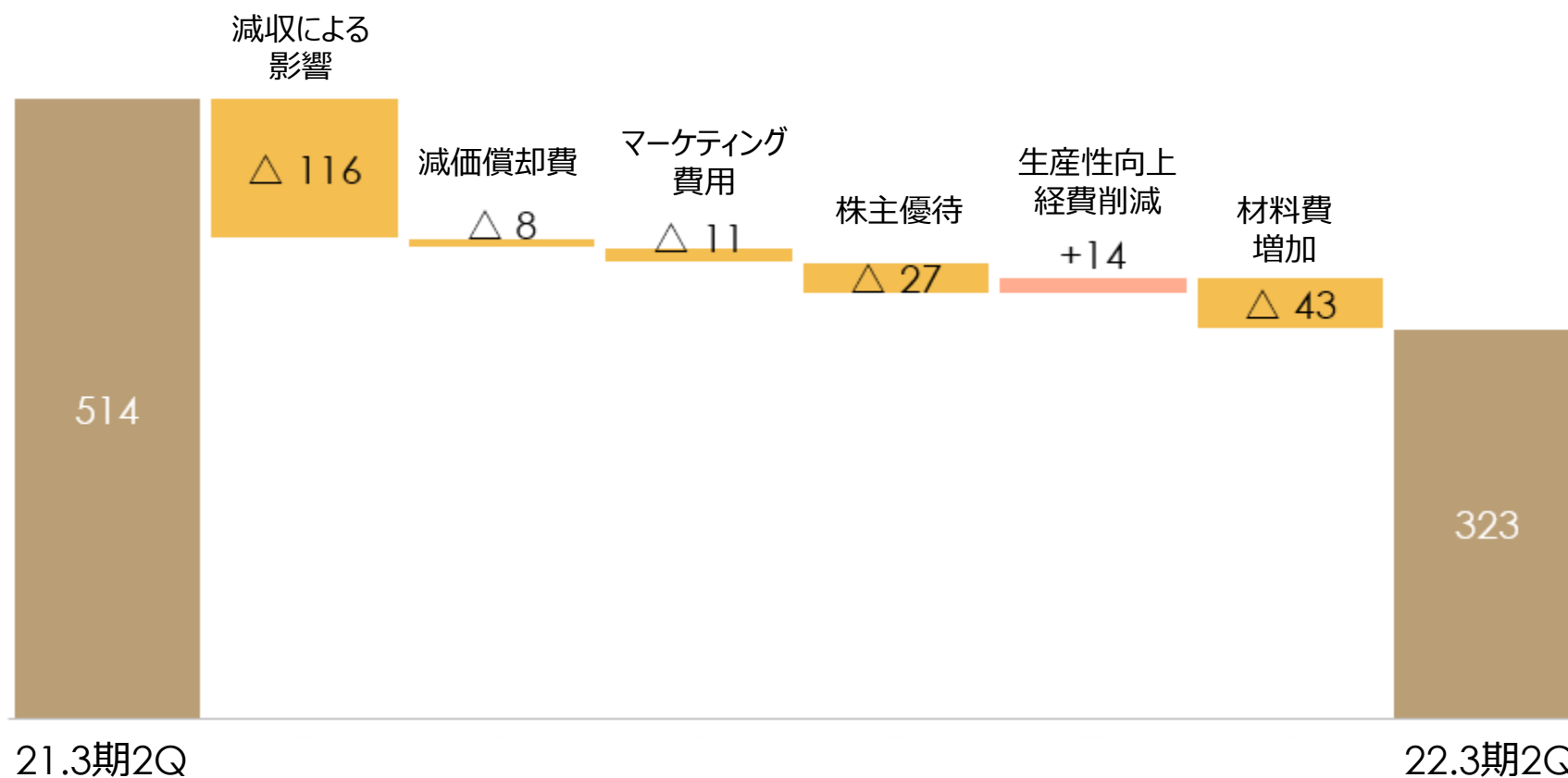
(百万円)

	21.3期 2Q 実績 (旧基準)	22.3期 2Q 実績 (新基準)
売上高	9,077	6,686
売上原価	4,391	4,363
売上原価率	48.4%	65.3%
売上総利益	4,686	2,323
売上総利益率	51.6%	34.7%
販売費及び一般管理費	4,171	1,999
販管費率	46.0%	29.9%
営業利益	514	323
営業利益率	5.7%	4.8%
経常利益	682	605
経常利益率	7.5%	9.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	475	420
親会社株主に帰属する四半期純利益率	5.2%	6.3%
EPS(円)	35.46円	31.31円
一株配当(円)	17.50円	17.50円
配当性向(%)	49.4%	55.9%
設備投資額	79	726
減価償却費	345	353
EBITDA	860	677

(百万円)

		21.3期 2Q 実績 (旧基準)	22.3期		コメント
			2Q 実績 (新基準)	構成比	
家庭用商品	ソース類 ウスター・中濃・ とんかつ、専用 他	5,906	4,070	60.9%	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症による昨年の内食需要急増の反動により低調に推移 ● ソースを使用した新たなレシピの認知拡大に向け他社調味料メーカーとのコラボレーション企画実施
	ドレッシング類 たれ・ケチャップ 他	1,601	984	14.7%	<ul style="list-style-type: none"> ● 青果店とコラボレーションし、旬の野菜とドレッシングの新商品詰合せ商品をECサイトにて販売 ● ドレッシング定番店舗数減少により低調に推移 ● 簡便志向の高まりにより手軽に作れる月島もんじゃ焼材料セットが好調に推移
	計	7,508	5,054	75.6%	
業務用商品		1,569	1,632	24.4%	<ul style="list-style-type: none"> ● デリカ・テイクアウト向け商品好調 ● 新型コロナウイルス感染症からの回復傾向により海外輸出向け商品好調
合計		9,077	6,686	100.0%	

営業利益（百万円）



(百万円)

	21.3期 実績	22.3期	
		2Q 実績	差額
流動資産	9,979	9,955	△23
固定資産	16,826	16,771	△55
資産合計	26,805	26,727	△78
流動負債	3,970	4,214	243
固定負債	2,290	2,102	△187
負債合計	6,260	6,316	55
純資産額	20,545	20,410	△134
自己資本額	20,545	20,410	△134
負債及び純資産合計	26,805	26,727	△78
自己資本比率	76.6%	76.4%	△0.2%

(百万円)

	21.3期 2Q実績	22.3期	
		2Q 実績	差額
営業活動によるキャッシュフロー	734	413	△320
投資活動によるキャッシュフロー	30	△71	△101
財務活動によるキャッシュフロー	△359	△350	9
現金及び現金同等物の増減額	404	△8	△412
現金及び現金同等物期末残高	4,680	4,842	161

ブルドックソースグループの新たなファンの獲得

家庭用商品の拡販

- 使用用途拡大のため、他社調味料メーカーとのコラボレーションを実施
- 試食販売に替わり、試供品小袋サンプリングの実施



ウェブを活用した情報発信

- QRコードを記載したポジティブシールを商品へ添付し、特設サイトへ誘導
- 社員考案のオリジナルレシピを掲載した「ご当地食材でGO! GO!めぐり」特設ページ設置
- 簡便志向の高まりに対応し、「おうちで鉄板焼」特設ページ設置
- インフルエンサーとコラボレーションしたキャンペーンの実施（ブルドックソース）

グループシナジーの強化

- 子会社であるサンフーズ株式会社のミツワ好みソースを使用した「広島好み焼材料セット『お好み村』」をブルドックソース株式会社が発売



ドレッシング類市場の強化

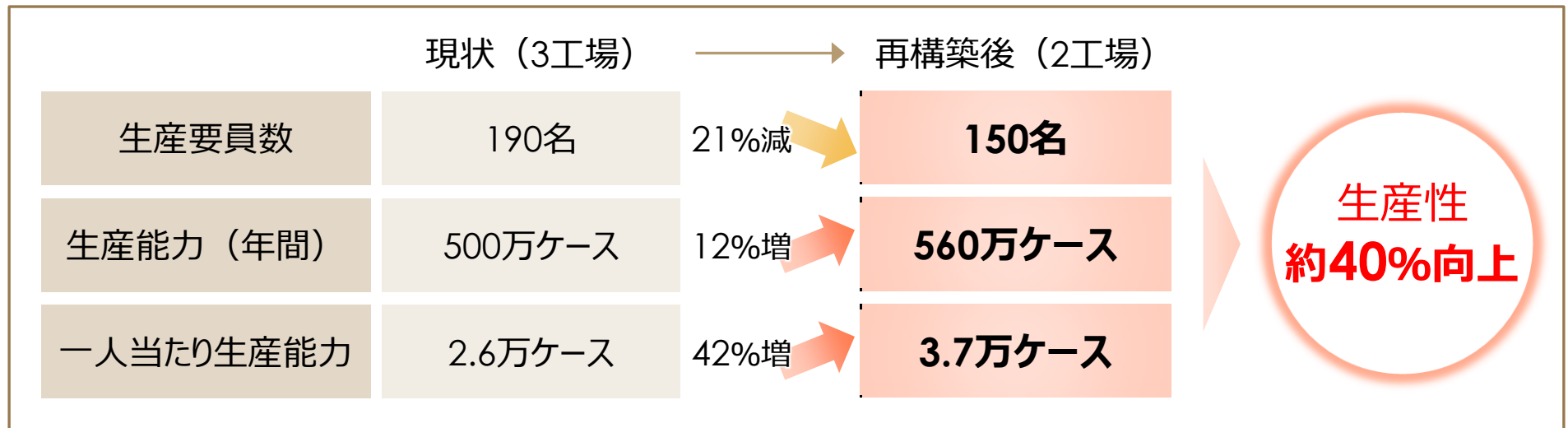
- 料理雑誌主催YouTubeライブにて当社商品を使用したレシピを配信。雑誌紙面にてタイアップ記事掲載
- 青果店とコラボレーションし、旬の野菜と当社ドレッシングの新商品詰合せ商品をECサイトにて販売



■ 主要 3 工場⇒ 2 工場体制にすることによりグループの競争力アップ

目的

- ① グループの生産効率の向上、省力化
- ② 環境負荷の低減を図ること
- ③ 安全で安定した生産体制の構築



【環境負荷低減予想】 **1 箱生産あたりのCO2排出量を約 20%削減**

工事内容	着工・完成予定	総投資額
新棟建設／既存棟改修／ ソース類及びその他調味料類の 生産設備新設・移設・改修他／ その他関連工事	<ul style="list-style-type: none"> ■ 着工予定：2022年 4月 ■ 完成予定：2023年12月 	約85億円

(百万円)

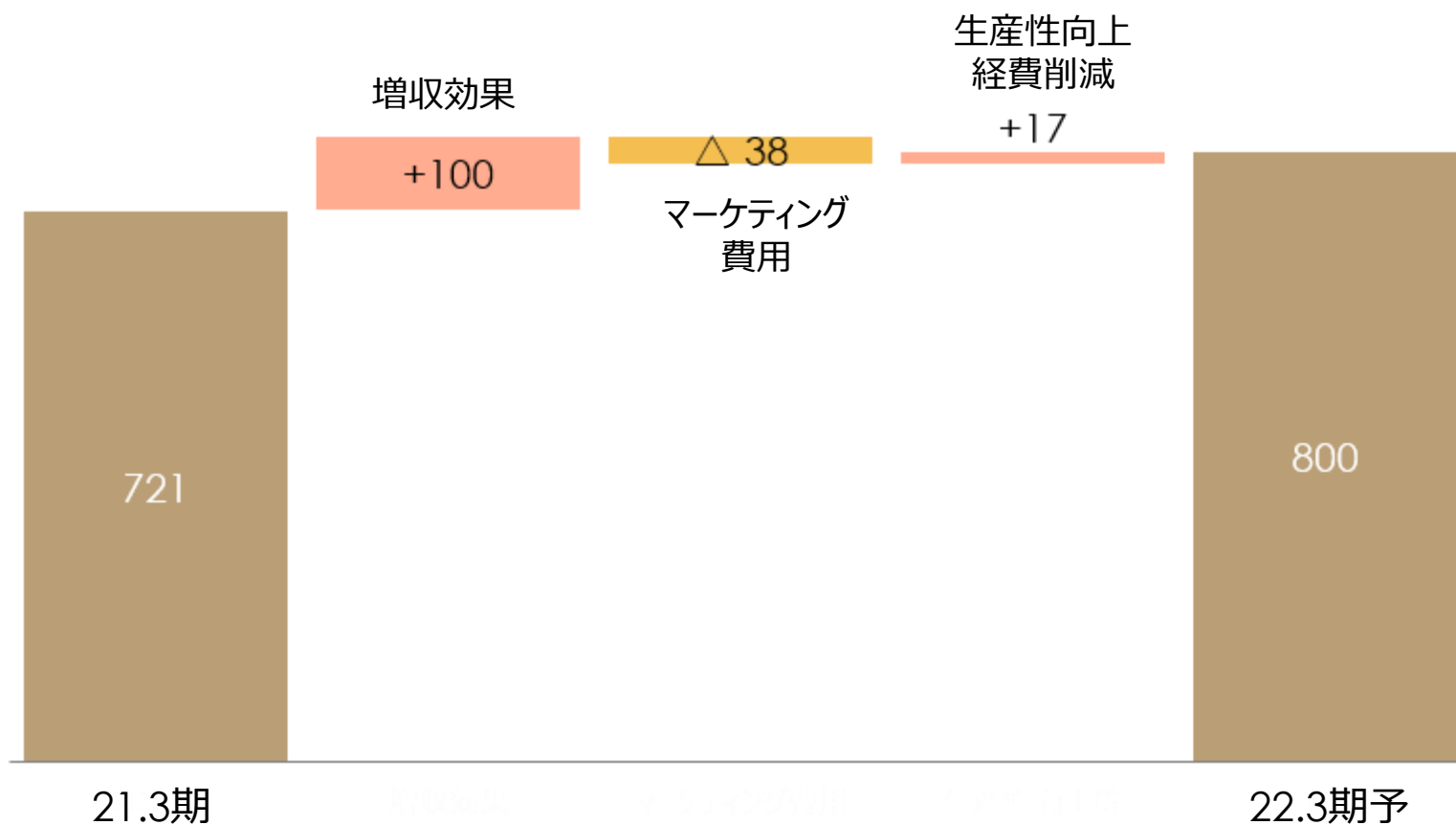
	21.3期実績 (旧基準)	22.3期 通期予想 (新基準)
売上高	17,708	13,500
売上原価	8,675	8,860
売上原価率	49.0%	65.6%
売上総利益	9,033	4,640
売上総利益率	51.0%	34.4%
販売費及び一般管理費	8,312	3,840
販管費率	46.9%	28.4%
営業利益	721	800
営業利益率	4.1%	5.9%
経常利益	985	1,130
経常利益率	5.6%	8.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	693	790
親会社株主に帰属する当期純利益率	3.9%	5.9%
EPS(円)	51.71円	58.84円
一株配当(円)	35.00円	35.00円
配当性向(%)	67.7%	59.5%
設備投資額	663	3,400
減価償却費	714	735
EBITDA	1,435	1,535

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

(百万円)

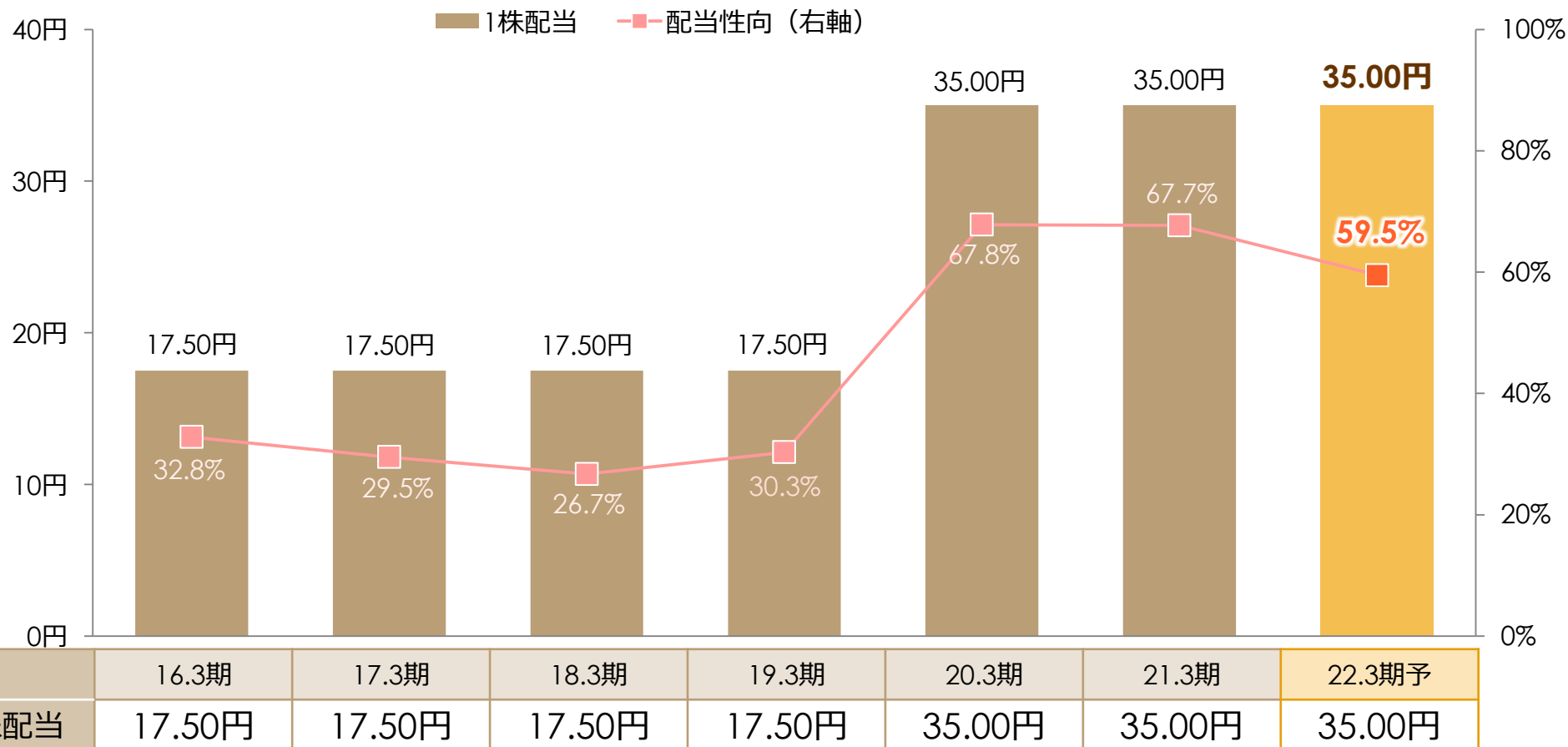
		21.3期 (旧基準)	22.3期予想 (新基準)		コメント
				構成比	
家庭用商品	ソース類 ウスター・中濃・ とんかつ、専用 他	11,478	8,190	60.6%	<ul style="list-style-type: none"> ● 新コンセプト「Jソース」の消費者向けプロモーションの実施 ● 他メーカーとのコラボメニューを提案することで需要を拡大
	ドレッシング類 たれ・ケチャップ 他	2,903	2,005	14.9%	<ul style="list-style-type: none"> ● ブルドックソースグループならではの特徴を加えた商品の拡大 ● ファン獲得のためのプロモーション実施 ● 新たな販売チャネルの開拓
	計	14,381	10,195	75.5%	
業務用商品		3,326	3,305	24.5%	<ul style="list-style-type: none"> ● SM・CVSの惣菜デリカの中食開拓 ● テイクアウト・デリバリー向け商品の拡充による提案強化
合計		17,708	13,500	100.0%	

営業利益（百万円）



将来に向けた資本政策も勘案し、22.3期は35円配当を継続予定

- 22.3期は1株配当予定額は35円、配当性向は59.5%を予定
- 2021年10月から2022年3月まで1.65億円（83,000株）を上限に自己株式を取得予定



※19.3期以前の数値は以下の株式併合・分割を換算して修正

・株式併合：2016年10月1日付で10株⇒1株

・株式分割：2019年8月1日付で1株⇒2株

A bowl of fresh fruits including corn, apples, and tomatoes, with two bottles of B-UP120 supplement overlaid. The bottles are dark with white caps and labels. The label on the right bottle features a circular logo with a face and the text 'B-UP120' and 'ビタミン' (Vitamin). The label on the left bottle has the text 'B-UP120' and 'ビタミン' (Vitamin).

2. 中期経営計画「B-UP120」

B-UP120

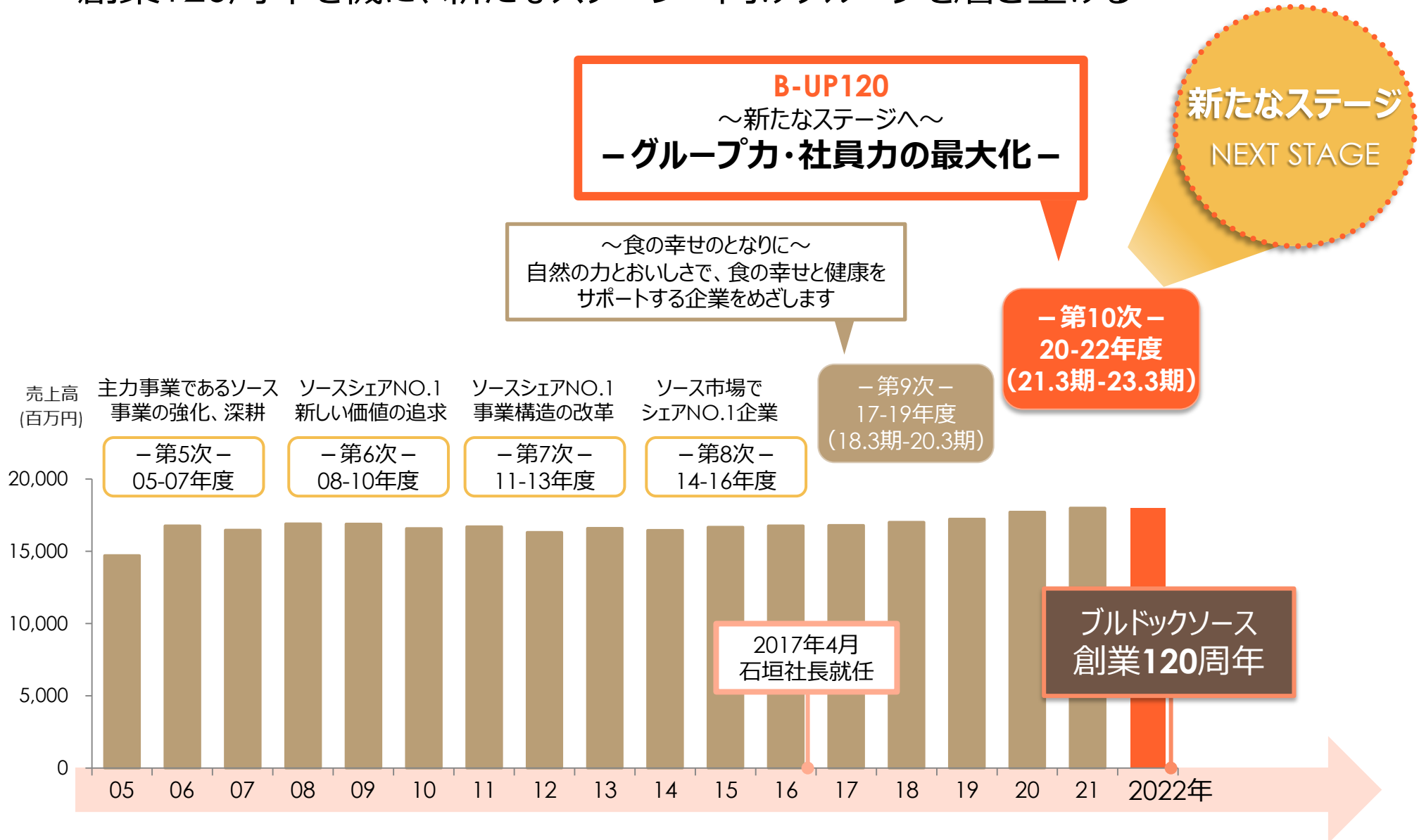
Brush Up Plan 120

～新たなステージへ～

ーグループカ・社員力の最大化ー

創業120周年（中計最終年度の2022年度）を機に、
新たなステージへ向けグループを磨き上げる Brush UP

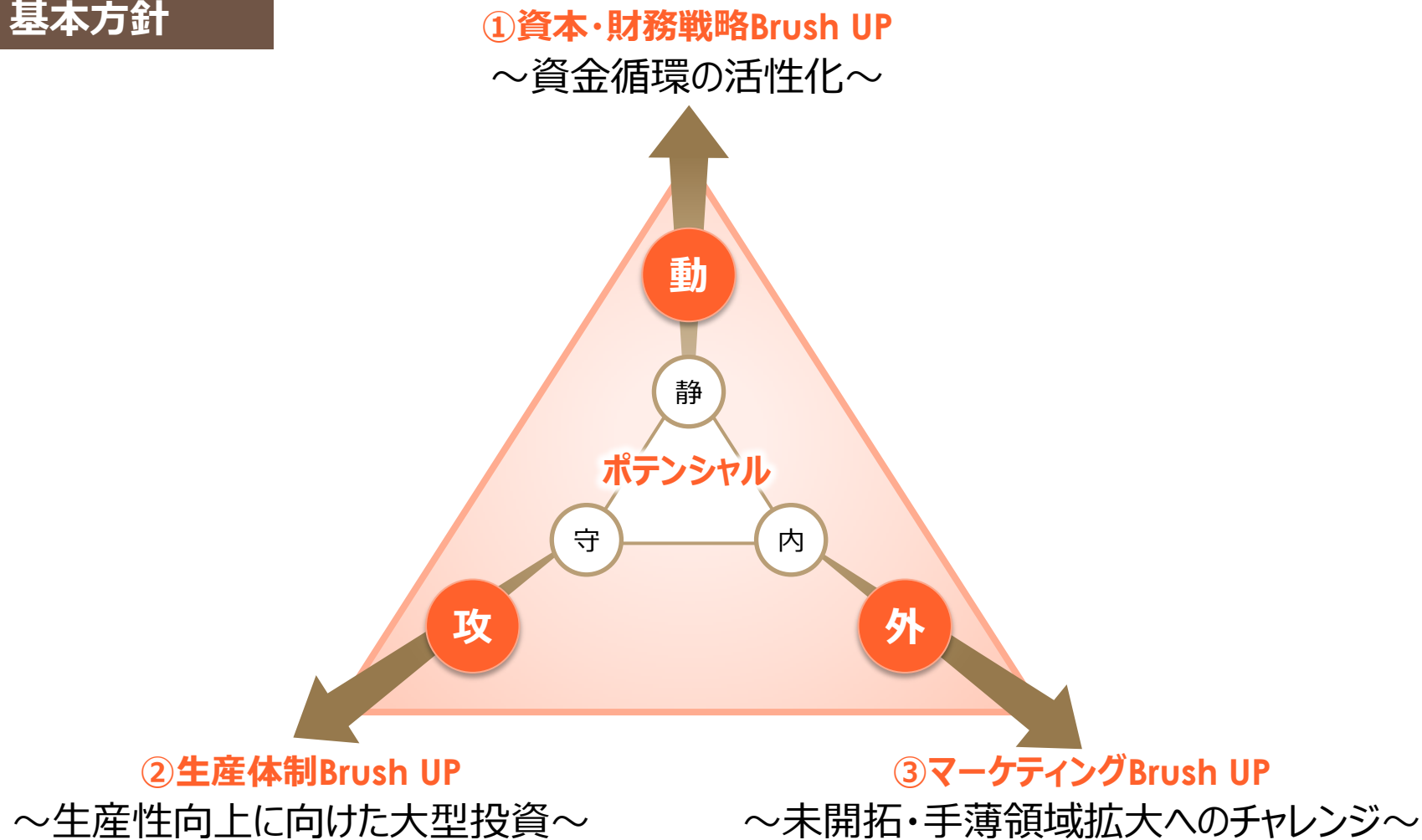
■ 創業120周年を機に、新たなステージへ向けグループを磨き上げる



目指す姿

グループカ・社員力の最大化

基本方針

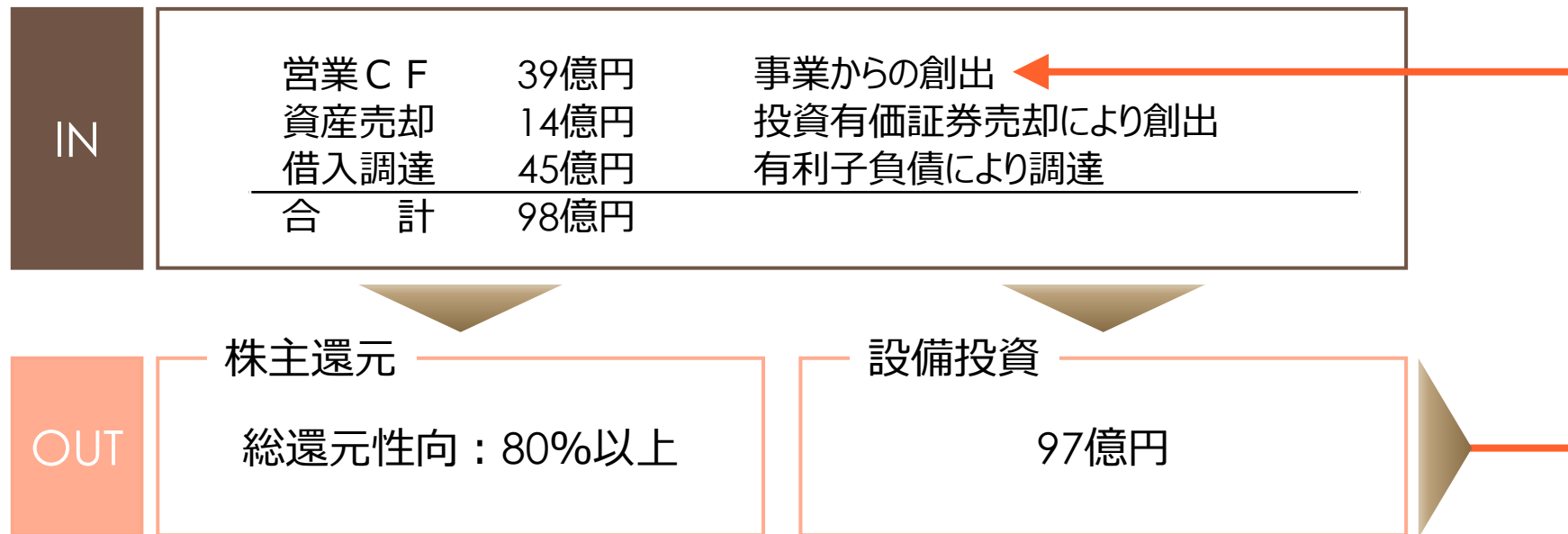


数値目標

項目	目標
1. 総還元性向	80%以上 (23.3期)
2. 設備投資	97億円 (累計)
3. EBITDA	16億円 (23.3期)

CFと資金配分

第10次中期経営計画 B-UP120期間中の累計CF



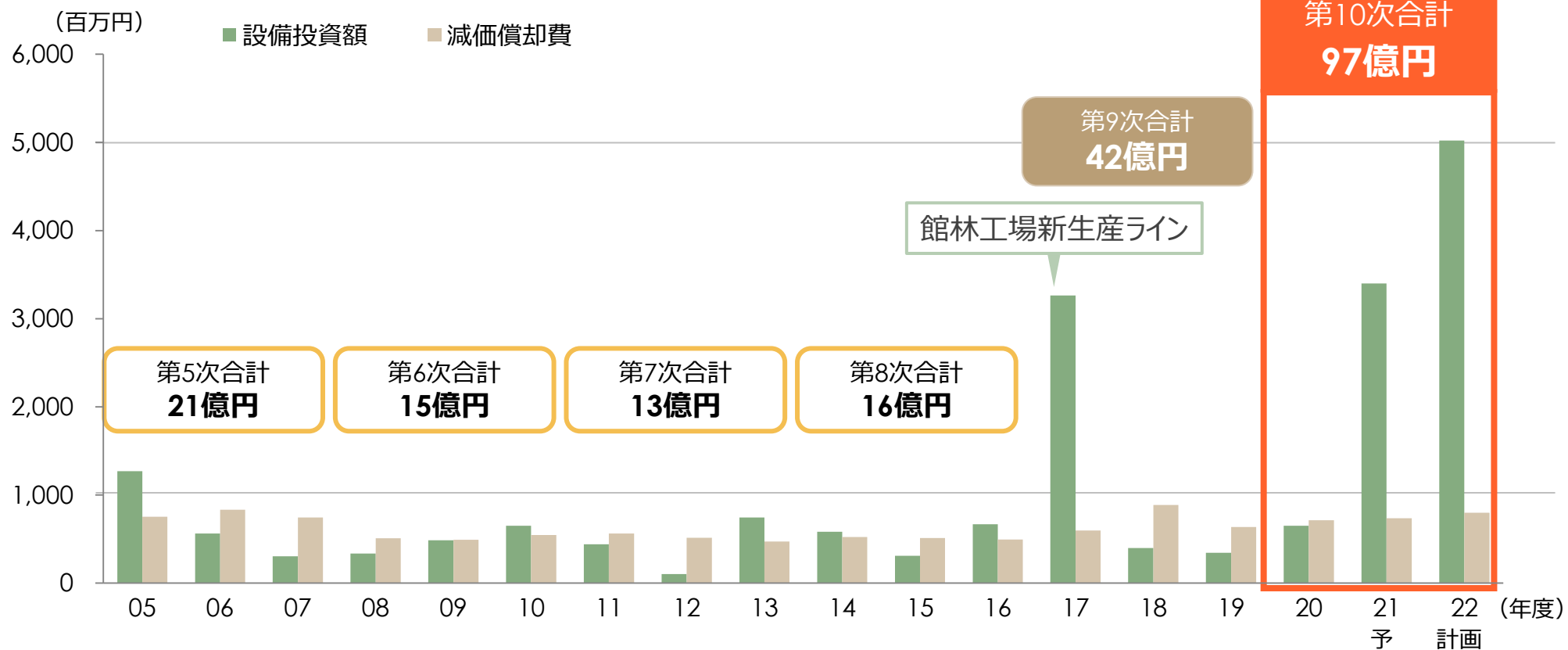
■ 資金循環の活性化

OUT	◆ 株主還元の推進：総還元性向80%以上
	◆ 設備投資：97億円
IN	◆ 保有株式の見直し：14億円 株式保有金額15%削減（84億円→70億円）
	◆ 有利子負債による調達：45億円

項目	23.3期
有利子負債合計	4,550百万円
DELシオ	0.22倍
自己資本比率	66%

■ 生産性向上に向けた総額97億円の大型投資を実施

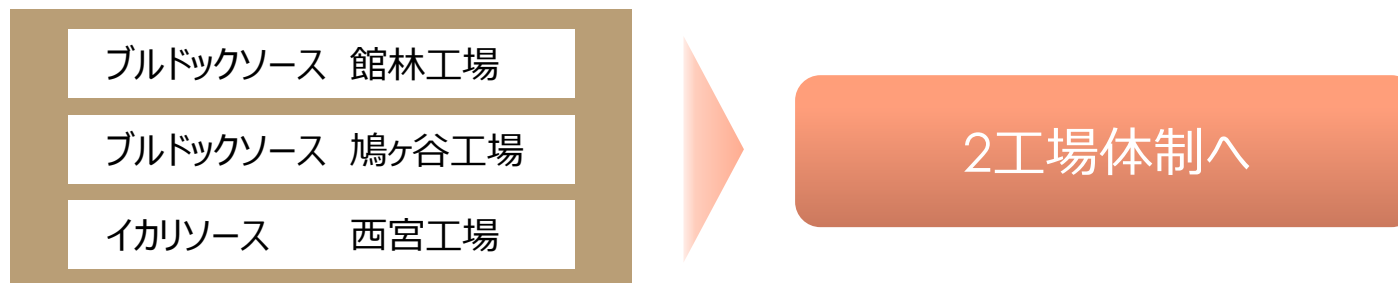
- 生産体制Brush Up : 85億円
 <竣工予定> 23年度中
- 設備メンテナンス : 12億円



■ 営業利益換算で40%の生産性向上を目指す

(3.5億円) ÷ (8億円)
 効率アップ効果 ÷ 23年3月期営業利益 にて算出

◆ 3工場を2工場へ



● 新体制により実現する効率化

項目	効率アップ要因	効率アップ効果予定額 (3工場→2工場)	金額
原材料費	・ 原材料副資材の共通化・ 統合による価格交渉	65億円→64億円	1億円
外注加工費		1億円→0.5億円	0.5億円
物流費	・ 拠点再配置による配送費増	9.6 億円→10.6億円	△1億円
鳩ヶ谷工場閉鎖削減分		0.9億円→0億円	0.9億円

● 省力化投資により実現する効率化

項目	効率アップ要因	効率アップ効果 (3工場→2工場)	金額
労務費	・ 省力化投資により実現	9億円→6.9億円	2.1億円

■ 未開拓・手薄領域へのチャレンジ

業務用の拡販

中食業界へのアプローチ
グループシェアの低い中食業態へ小袋・
ピロー・PB商品で徹底アプローチ

数値目標：10%アップ、4億円増
(20.3期予想比)

ドレッシング類市場の強化

商品Brush Up
オウンドメディア事業によりグループブランドの
ファンを増やす

数値目標：4%アップ、1億円増
(20.3期予想比)

エリア展開

広島：サンフーズをグループ化
広島の有名お好み焼ソースブランドを販売面
でのグループシナジー効果を発揮して売上拡大

数値目標：2億円獲得

海外展開

中国市場の開拓
上海現法からの展開
日本で培ったノウハウを活かし中国の人々に
ソースの美味しさを広める

数値目標：中国で売上1億円獲得

ソース

■ 未開拓・手薄領域へのチャレンジ

ブランド別売上高		20.3期 実績	21.3期 実績	計画	23.3期予想	
					差額 (20.3期比)	伸び率 (20.3期比)
家庭用商品	ソース類 ウスター・中濃・ とんかつ、専用 他	10,769	11,478	10,700	△69	△0.6%
	ドレッシング類 たれ・ケチャップ 他	2,848	2,903	2,900	51	1.8%
	計	13,617	14,381	13,600	△17	△0.1%
業務用商品		3,617	3,326	4,400	782	21.6%
合計		17,235	17,708	18,000	764	4.4%

※2021年4月1日より「収益認識に関する会計基準」が適用されますが、上記数値は、当該会計基準適用前の数値であります。

創業120周年からの、新たなステージ

自然の恵みのおいしさで、
食の幸せを世界に広げる
ブルドックソースグループ

最大化された
グループカ・社員力

第10次中期経営計画
B-UP120

■ 中期経営計画B-UP120の進捗状況

2020年度～2022年度 中計目標

進捗

資本・財務戦略Brush UP

資金循環の活性化

- ・ 保有株式一部売却（5.8億円）
- ・ 2021年10月から2022年3月まで1.65億円（83,000株）を上限に自己株式を取得予定



生産体制Brush UP

生産性向上に向けた総額97億円の大型投資
3工場から2工場へ再編し
営業利益換算で40%の生産性向上を目指す

- ・ 基本実施設計施行契約（第一次）締結完了
- ・ 2022.4着工に向け計画通り進行中



マーケティングBrush UP

未開拓・手薄領域拡大へのチャレンジ

- ・ 業務用の拡販
- ・ ドレッシング類市場の強化
- ・ エリア展開
- ・ 海外展開

- ・ デリカ・テイクアウト向けメニュー提案による新規売上獲得
- ・ ドレッシング類の市場定着が進まず、定番配荷店舗数減
- ・ お好み村全店御用達ミツワお好みソース使用の「広島お好み焼材料セット『お好み村』」全国発売
- ・ 中国専用家庭用300ml角ボトル商品発売（現地生産）
- ・ 海外輸出向け業務用とんかつソース1.8Lが好調に推移



(単位：百万円)

	21.3期 実績 (旧基準)	22.3期 業績予想 (新基準)	B-UP120 計画 (旧基準)			CAGR
			21.3期計	22.3期計	23.3期計	
売上高	17,708	13,500	17,650	17,800	18,000	1.5%
営業利益	721	800	620	690	800	7.8%
経常利益	985	1,130	950	1,020	1,590	15.2%
当期純利益	693	790	650	700	1,090	16.4%
EBITDA	1,435	1,535	1,420	1,490	1,600	7.8%
営業利益率	4.1%	5.9%	3.5%	3.9%	4.4%	
売上高EBITDA比率	8.1%	11.4%	8.0%	8.4%	8.9%	
ROE	3.4%	3.9%	3.2%	3.4%	5.3%	
自己資本比率	76.6%	78.0%	77%	71%	66%	
DELシオ	0.0	0.1	0.0	0.1	0.2	
設備投資額	663	3,400	700	2,700	5,020	8,420
減価償却費	714	735	800	800	800	2,326

	21.3期実績	22.3期予想	21.3期計	22.3期計	23.3期計	CAGR
営業CF	1,513	1,470	1,270	1,330	1,250	
投資CF	△165	△3,230	△460	△2,470	△4,180	
財務CF	△774	400	△520	1,440	1,630	
現金同等物増減	574	△1,360	290	300	△1,300	
期首残高	4,276	4,850	4,276	4,566	4,866	
期末残高	4,850	3,490	4,566	4,866	3,566	

3. 会社概要



「幸福感を味わえる商品をお客様に提供すること」

- ◆ 「お客様やそのご家族が毎日元気で暮らしていただけること」こそが私たちグループが果たすべき使命と考えるからです。
- ◆ ブルドックソースグループは、この社会的使命を果たし、全てのお客様にその価値をご提供できるよう全社員一丸となって「食の幸せのとなりに」をそのスローガンとし、努力してまいります。
- ◆ 今後ともよりいっそうのご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役 社長執行役員
石垣幸俊

商号	ブルドックソース株式会社 【英文名】BULL-DOG SAUCE CO.,LTD.
創業	1902(明治35)年 食料品卸商三澤屋商店を開業 (1905年 ソースの製造・販売を開始)
設立	1926(大正15)年 9月21日
事業内容	ソース、その他調味料の製造・販売
資本金	10.4億円 [2021年3月期]
従業員数	連結：316名 [2021年3月末現在]
売上高	連結：177億円 [2021年3月期]
関連会社	<ul style="list-style-type: none"> ■ イカリソース株式会社 (100%出資) ■ 株式会社Bullフーズ (100%出資) ■ サンフーズ株式会社 (100%出資) ■ 富留得客食品(上海)有限公司 (100%出資)



Bull-Dog

食の幸せのとなりに。

洋食はいまや、日本の文化です。西洋の料理そのものではなく、日本人の口に合うよう進化した料理です。私たちブルドックソースは、そんな洋食に合ったソースを開発し、日本の洋食を支えてきたと自負しています。

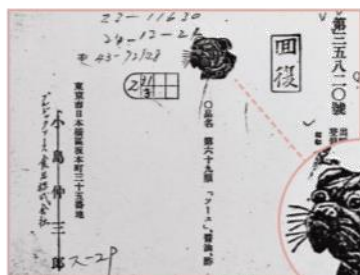
時代が変わり、味覚の嗜好が変わっても、それに合わせたソースをお届けし続けることで、いつも「食の幸せのとなり」にいたいと考えています。



「BULL-DOG」

ブルドックソースの名前の由来

ソース発祥の地であるイギリスで、ブルドッグはシンボル犬として愛されていました。ソースが日本の家庭に馴染んできた大正末期に、ソースと故郷を同じくするこのペット同様に人々に広く愛されるようにと、商品名に「ブルドック」として採用、マークとしました。



明治42年(1909年)
4月5日 申請時の呼
称どおり「ブルドック」
として商標登録



「IKARI」

イカリソースの名前の由来

1895(明治28)年の秋、旧イカリソースの創業者が乗り込んだ船が火事に遭い、彼は自分の救命袋を妻子のいる友人に譲り、観念して海に飛び込みました。もう駄目だと諦めかけていたとき、目の前に救命ランチの錨(いかり)網が。九死に一生を得たことから、このときの感謝の気持ちを忘れないよう、イカリを社名とマークに採用しました。



イカリマークの変遷



1. 明治



2. 大正



3. 昭和初期



4. 昭和15年以降

イカリマークのデザインは、現在までに5度変わっております

洋食が始まる明治期に創業し、日本の食生活とともに成長



ブルドックソース

Bull-Dog



鳩ヶ谷工場

埼玉の鳩ヶ谷に工場を新設

現在の茅場町交差点に
新社屋が完成

「ブルドック」の商標を登録
「NO.1特製ブルドックソース」として販売

犬印ソースとして
自社ブランド商品を製造

創業者、初代小島伸三郎
は日本橋に当社の前身で
ある三澤屋商店を創業

1896

1902

1905

1909

1912

1929

1935

1951

1953

1963

1964

1966

1970

1973

1981

1983

1990

1998

2005

2009

2010

2012

2014

2015

2017

2018

2019

2021

大阪市此花区伝法に工場を設立

業界として日本初の全自動びん詰めラインを設置し稼働

唐辛子の辛味成分を抽出する特許取得

業界初のプラスチック容器を採用した「ポリパック」発売

九州工場竣工

西宮工場竣工

業界初のビタミン入り低塩ソース「健康ライフ」発売

ノンオイルドレッシング「野菜のドレス」発売

ブルドックソースグループとしてスタート

イカリソース特許登録

株式を東京証券取引所市場第二部に上場

館林工場を新設。鳩ヶ谷と館林の2工場体制

とんかつソース発売



中国現地法人「富留得客(北京)商貿有限公司」設立



2010年モンドセレクションの金賞受賞



うまソース発売

株式を東京証券取引所市場
第一部銘柄に指定

新ブランド「& Bull-Dog」発売

鳩ヶ谷工場・
館林工場
FSSC22000取得

西宮工場
FSSC22000
取得

サンフーズをグループ化、
中国現地法人
富留得客食品（上海）
有限公司設立



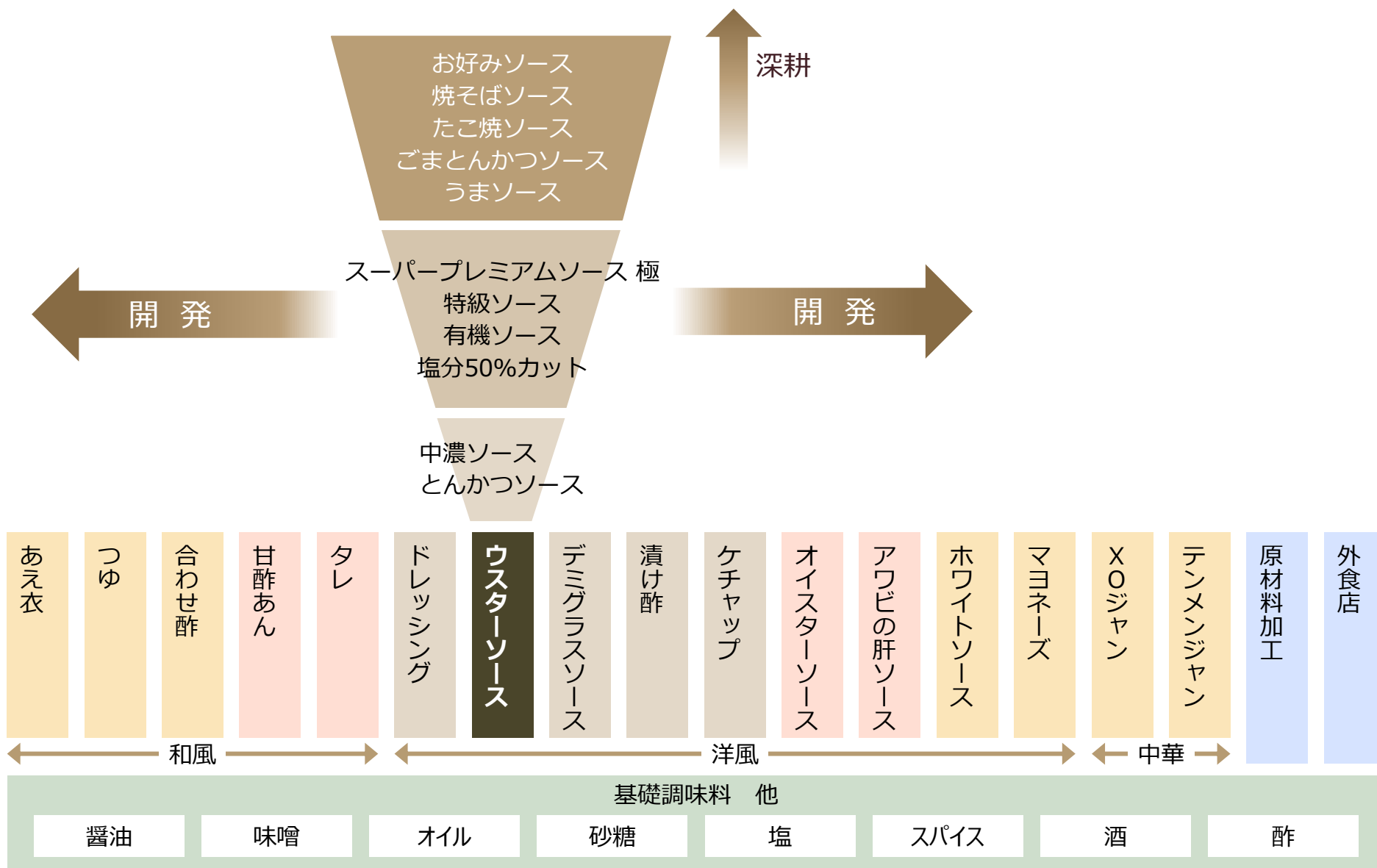
イカリソース

IKARI SAUCE CO., LTD.

イカリソース誕生

本格的ソースとしては、国産第1号となった「錨印ソース」を発売

	主な製品	パッケージ
<p>家庭用商品 ソース類 (ウスター・中濃・ とんかつ、専用)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ レギュラーソース ◆ (ブル/イカリ) ◆ お好みソース(サンフーズ) ◆ Jソース(ブル) 	
<p>家庭用商品 ドレッシング類 たれ・ケチャップ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 月島もんじゃ焼(ブル) ◆ & Bull-Dog (ブル) ◆ 野菜のドレ、たれ(イカリ) ◆ 季の皿(イカリ) 	
<p>業務用商品</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 小袋、1L、1.8L、10L、20L ◆ 他PB多数(ブル/イカリ) 	



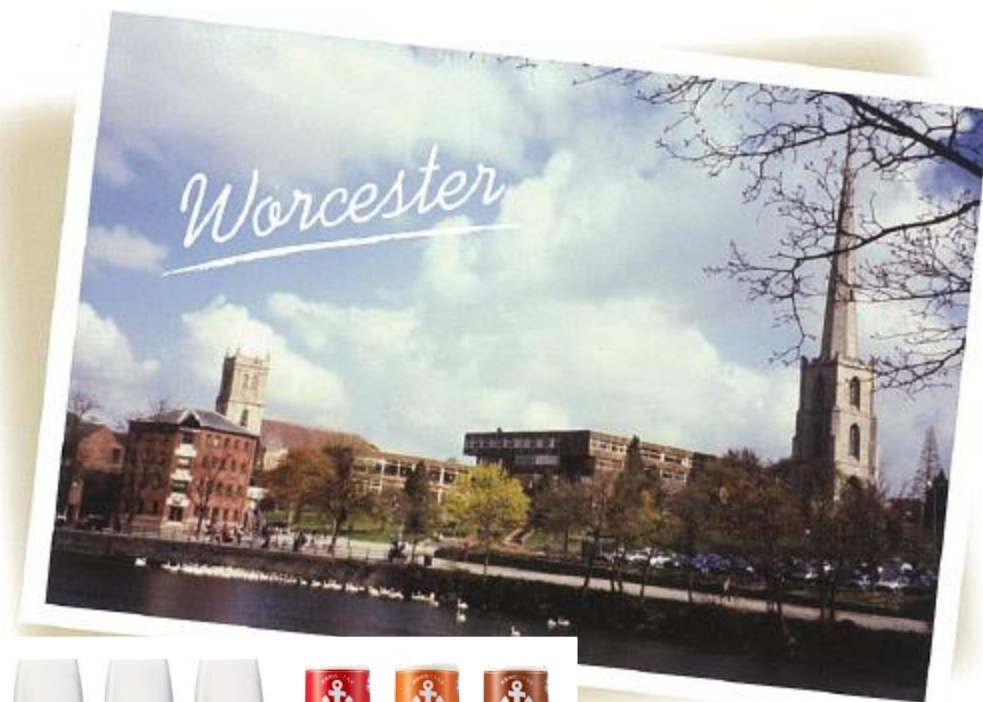
■ブルドックソースはイギリス伝統のウスターソースを日本風にアレンジ

●ソースの本流を司る会社

■ソースの歴史

ソースの発祥

ソースはロンドンの北西180kmほどの、イングランド中央、ウスターシャー地方のウスター市に住む主婦が、野菜や果物を香辛料や塩と一緒につぼに入れて保存しておいたところ、しばらくして食欲をそそる美味しそうな香りの液体になっていたのがはじまりと言われています。その後、ソースのおいしさに着目したリー・アンド・ペリンス社によりウスターソースとして商品化されました。



■ たくさんの自然素材の力を引き出して、安心な商品を作っています。

レギュラーソースは食品添加物を加えておりません！

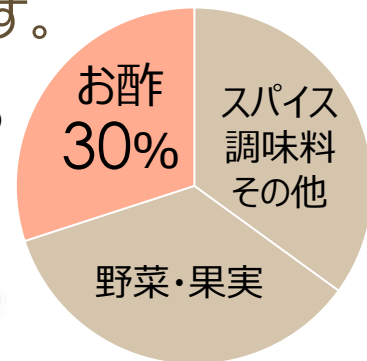
10種類以上のスパイス

主なソースにはと唐辛子や生姜をはじめ、10種類以上のスパイスがブレンドされています。ブレンドのバランスがソースの味の秘訣に！



お酢が約30%も入ってます。

ソースはその30%がお酢でできています。疲労回復や食欲増進に効果があると言われるお酢。ソースの味を引き締めるだけでなく、防腐・殺菌の効果もあります。



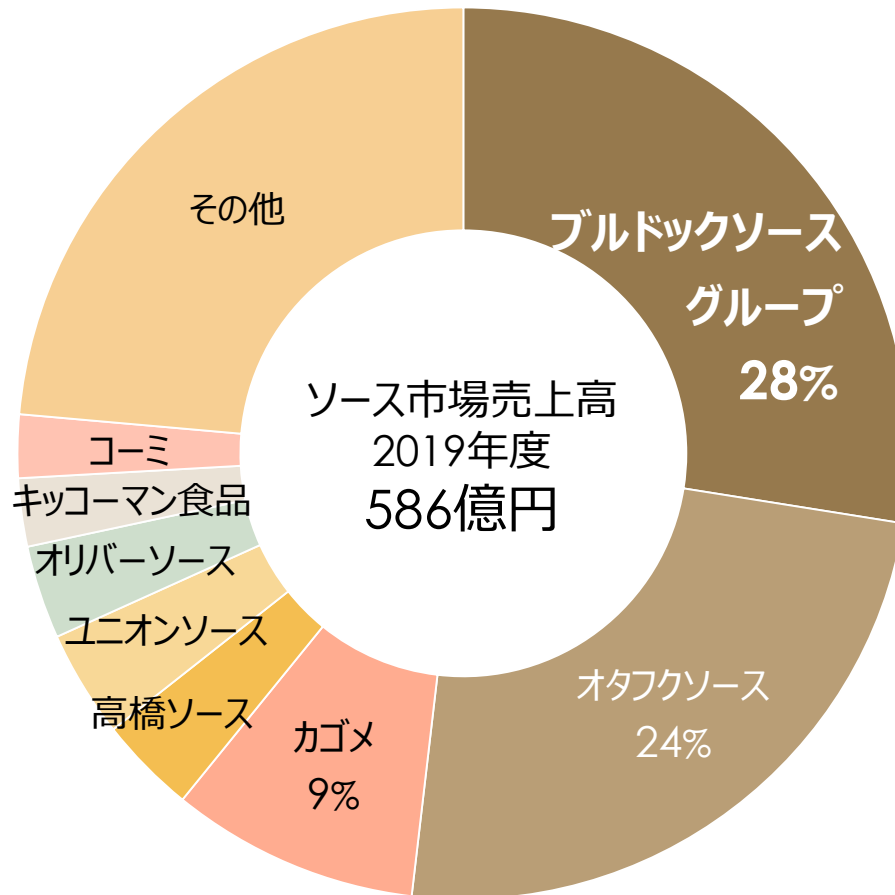
原材料に占めるお酢の比率

ソースは、かける野菜・果物！

ソースには、トマト、たまねぎ、リンゴなどの野菜や果物が豊富に含まれています。その味が自然な甘さや酸味となり、ソースのおいしさとなっているのです。自然素材のチカラとおいしさを存分に引き出すため、素材そのものの味わいや風合い、色合いなどを出せるよう、日々の研究開発に注力しています

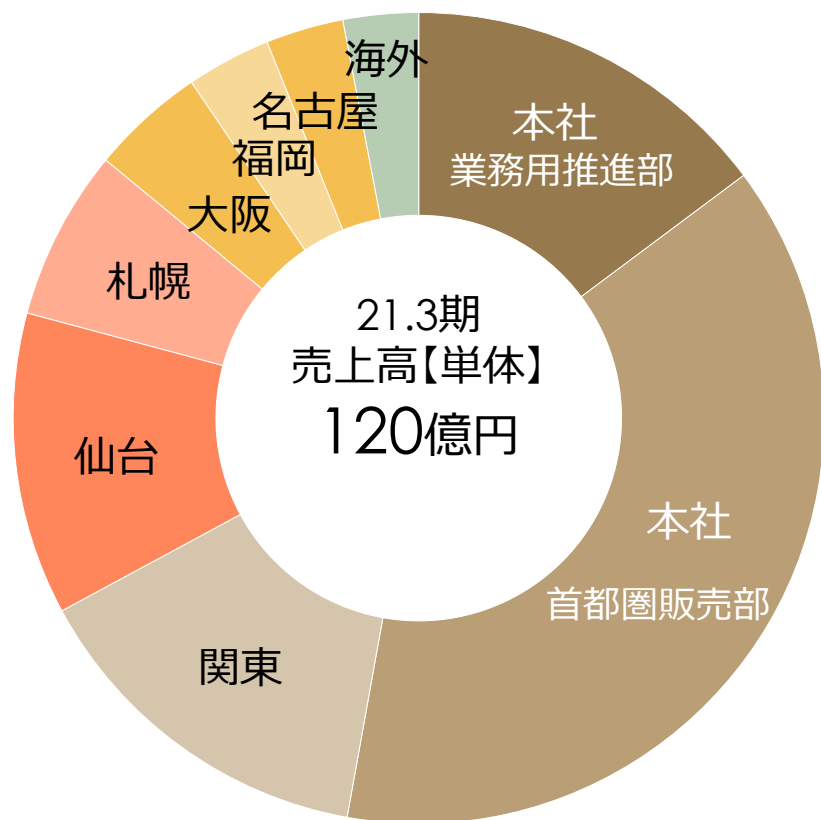


ソース市場 メーカーシェア

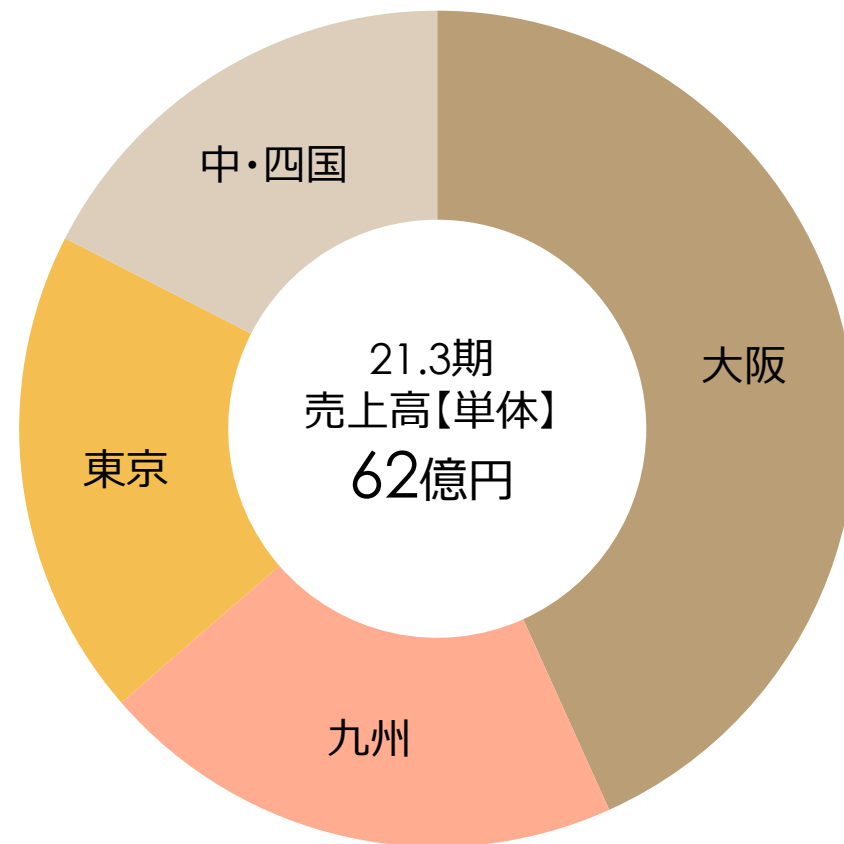


出所)「2021年食品マーケティング便覧No.5」富士経済

ブルドックソース拠点別売上構成比



イカリソース拠点別売上構成比





■ 食品安全への取り組み

- お客様やご家族が毎日元気で暮らせるために、安全・安心・信頼できる企業であり続ける事を前提として、グループで食品安全を最優先に企業活動を取り組みます。



毎日安心してお召し上がりいただくために、徹底した衛生管理がなされた工場生産されています。原料についても素材にこだわり品質をチェックし合格したものだけを受け入れております。素材の力を引き出しておいしいものを届けたいその思いから、主力商品は、カラメル色素・増粘剤・化学調味料・甘味料などの食品添加物を加えておりません。総合的な衛生管理システムで生産から出荷までの製造工程を厳しく管理しております。

食品安全システム

ブルドックソース、イカリソースは、
FSSC22000を取得致しました。

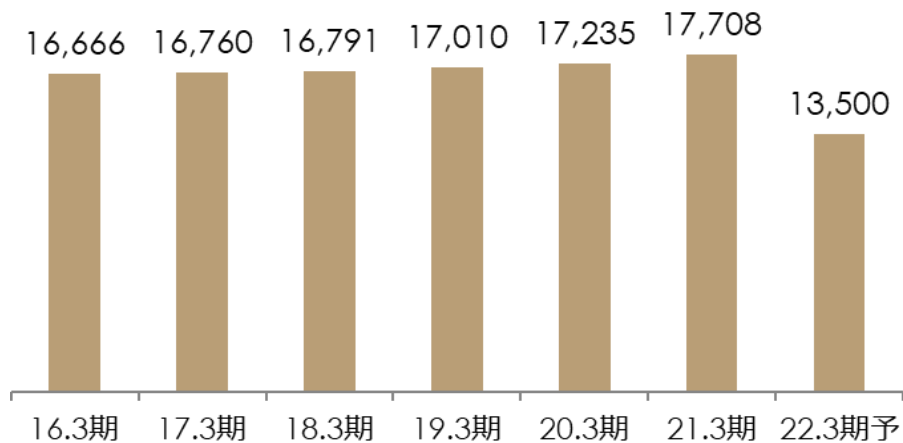
ブルドックソース鳩ヶ谷工場・館林工場、及びイカリソース西宮工場は、食品安全FSSC22000を取得しました。FSSC(Food Safety System Certification)22000は、食品製造組織に向けた、新しい食品安全システムの国際規格です。



食品安全方針

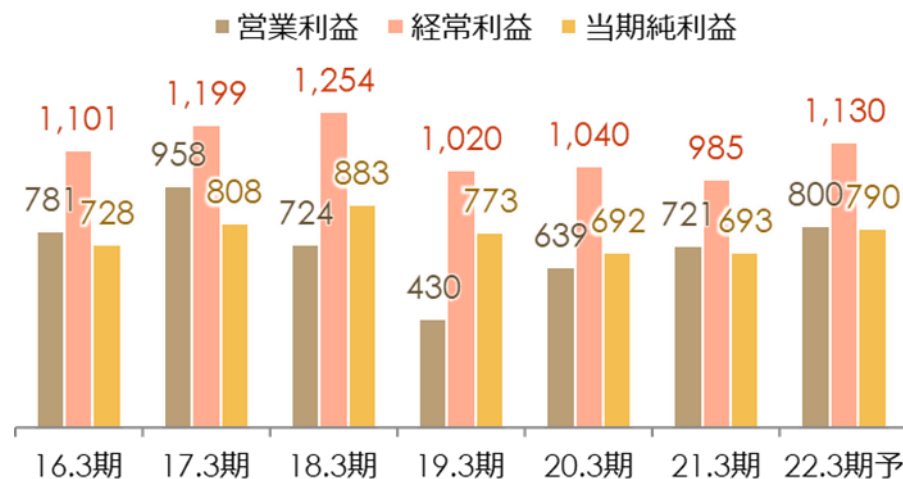
1. 食品安全関連法規制及び当社が同意したお客様要求内容について遵守します。
2. フードチェーンの一員として常に食品安全を優先し、お客様との食品安全に関するコミュニケーションを大切にして食品安全に影響する問題を全従業員に周知徹底します。
3. 食品安全の意識・知識・行動を身につけるため全従業員に教育を実施します。
4. 食品安全行動を実施するために、組織と具体的な行動規定・手順を策定します。
5. 定期的なマネジメントレビューを実施し、法規制対応・方針・規定・手順等の有効性確認と見直しをして継続的且つ適切に実行します。

売上高 (百万円)



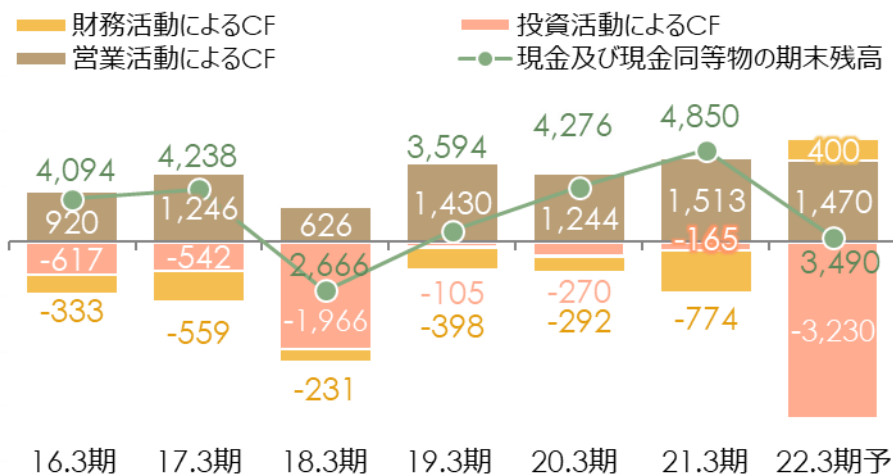
※22.3期予は、収益認識会計基準適用後の数値を記載しております。

利益 (百万円)

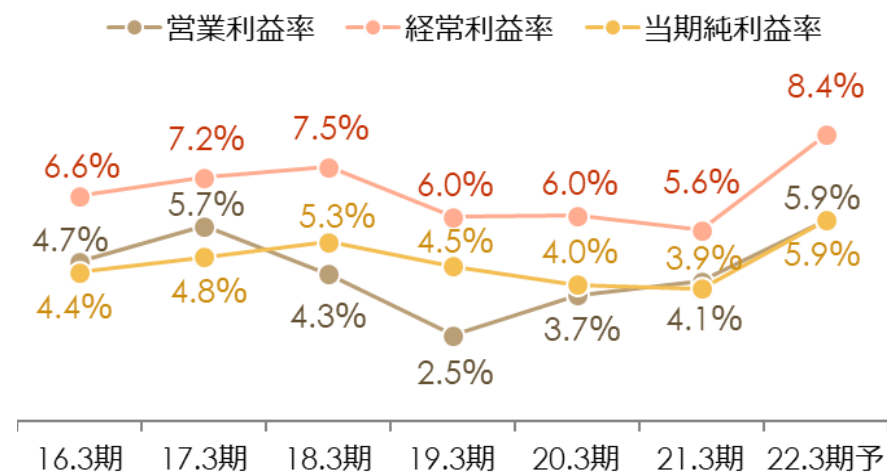


※当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

キャッシュフロー(百万円)



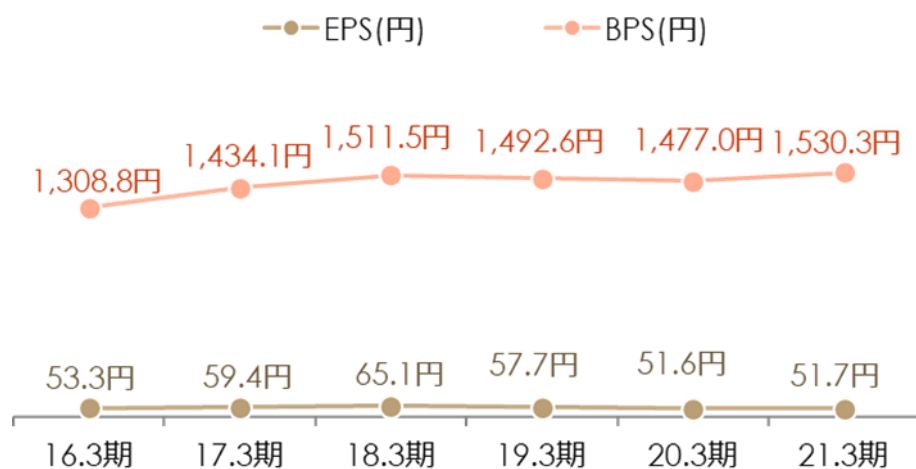
利益率 (%)



※当期純利益率 = 親会社株主に帰属する当期純利益率

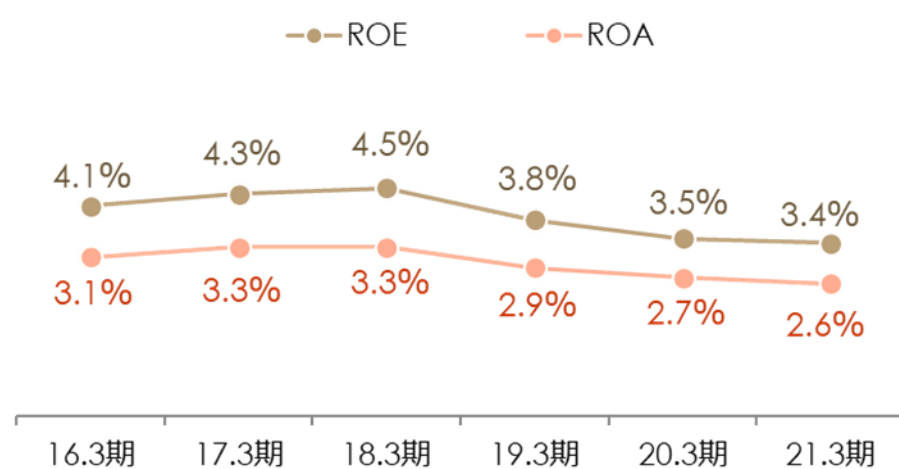
※22.3期予は、収益認識会計基準適用後の率を記載しております。

EPS・BPS (円)



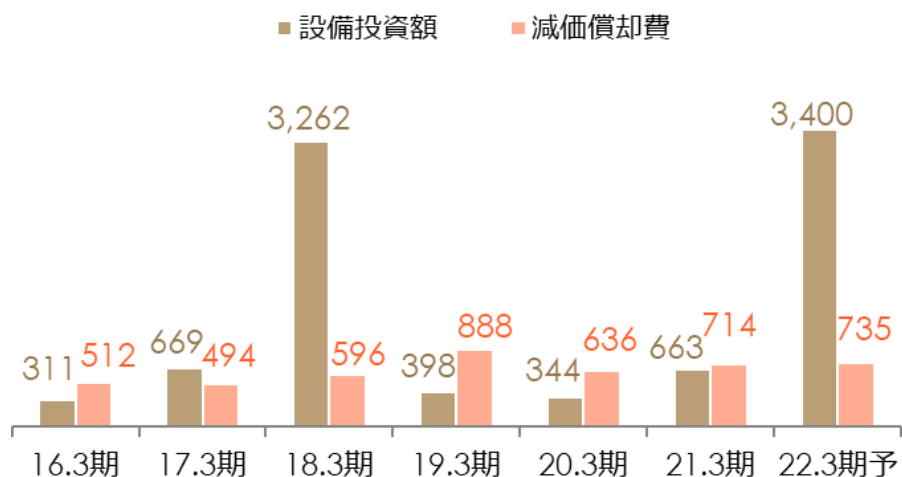
※19.3期以前の数値は以下の株式併合・分割を換算して修正
 ・株式併合：2016年10月1日付で10株⇒1株
 ・株式分割：2019年8月1日付で1株⇒2株

ROE・ROA (%)

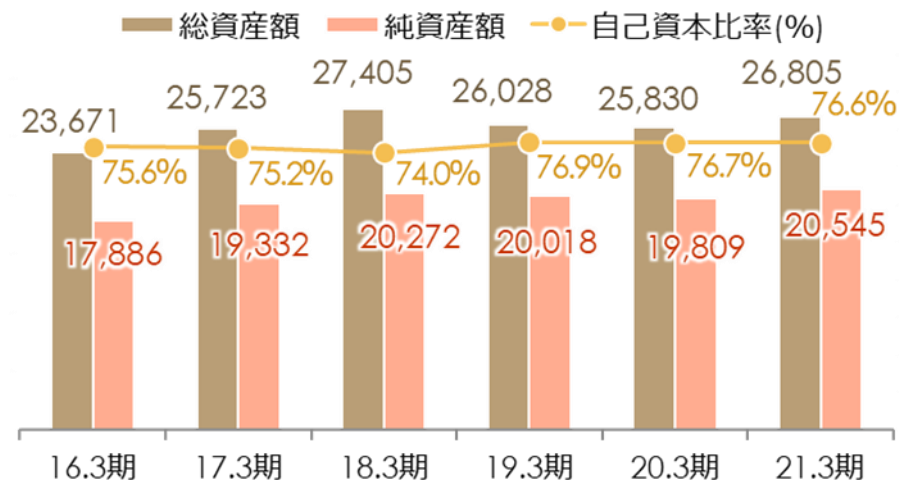


※ROA = 当期純利益 / 期中平均総資産額

設備投資額及び減価償却費 (百万円)



総資産額・純資産額、自己資本比率 (百万円、%)



業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

その他留意事項

資料内数値は百万円未満切捨て表示し、百分率は元データから算出しております。